

新たな地域おこし協力隊を委嘱

インバウンド観光振興を強化します

市は、市外の人材を積極的に確保し、定住・定着を図るとともに、地域活性化を促進するため、市として6人目の「地域おこし協力隊員」を委嘱しました。今回委嘱する地域おこし協力隊員には、インバウンド観光振興のための情報発信などを担当してもらいます。詳しくは、☎観光課(☎2873)へ。

地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域などへ生活の拠点を移した人を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱する制度です。隊員は、一定期間、地域に居住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などを行いながら、その地域への定住・定着を図ります。

令和5年度末時点で、県内では、25市町村において127人が活動しています。

新隊員の紹介

新たに地域おこし協力隊として委嘱したのは、胡 玄燁さんです。胡さんは、台湾出身で、日本の文化や自然に魅了され、日本で観光業に携わってきました。今回の委嘱を機に市内に移住し、協力隊の活動に当たります。

委嘱期間は、10月1日～令和7年3月31日(月)です。期間は更新可能で、最長3年間活動することができます。

胡隊員のプロフィール

氏 名 胡 玄燁
年 齢 37歳(1987(昭和62)年生まれ)
出身地 台湾高雄市
移住元 東京都大田区
趣 味 旅行・音楽・映画
特 技 ピアノ
好きなアーティスト 椎名林檎

胡隊員の活動内容

- ▷ SNSなどを活用したインバウンド向け情報発信
- ▷ 伊香保温泉石段街を中心としたインバウンド向け観光ガイド
- ▷ インバウンド向けの体験観光商品の開発や実行
- ▷ その他、市の観光振興に資する業務

胡隊員のコメント

2013年に初めて訪日して以来、日本の文化が好きになり毎年日本を訪れています。交換留学生としても東京藝術大学に1年間通いました。卒業後、台湾で就職した会社の仕事で、取引先の人を連れて日本を案内した経験から、観光ガイドの仕事に興味を持つようになりました。

コロナ後に再び来日し、東京のハイヤーの会社に就職しました。地域通訳案内士の資格を取得するなど観光に関する勉強をしながら、訪日外国人の観光案内などに携わった後、このたび、地域おこし協力隊として採用していただきました。

現在、旅先として日本は世界中で大人気です。渋川市にも多くの観光客が訪れていますが、世界的な知名度は高くありません。私は、台湾と日本の懸け橋となり、渋川市の魅力を発見し、世界中に発信し、広めていきたいです。

